

(5) 第11回全国和牛能力共進会について

【出品の区分について】

出品の区分

出品区	生後月齢※4	生年月日	備考
第1区 (若雄)	15～23ヵ月未満	平27.10. 8～平28. 6. 7	
第2区 (若雌の1)	14～17ヵ月未満	平28. 4. 8～平28. 7. 7	
第3区 (若雌の2)	17～20ヵ月未満	平28. 1. 8～平28. 4. 7	
第4区 (系統雌牛群)	14ヵ月以上	平28. 7. 7以前	
第5区 (繁殖雌牛群)	3産以上		
第6区 (高等登録群)	14ヵ月以上	平28. 7. 7以前	
第7区 (総合評価群)			※1
・種牛群	17～24ヵ月未満	平27. 9. 8～平28. 4. 7	
・肉牛群	24ヵ月未満	平27. 9. 8以降	
第8区 (若雄後代検定牛群)	24ヵ月未満	平27. 9. 8以降	※2
第9区 (去勢肥育牛)	24ヵ月未満	平27. 9. 8以降	※3

- ※1 出品牛の父牛は、平成17年10月1日以降生まれのもの。
 ※2 出品牛の父牛は、平成22年10月1日以降生まれのもの。
 ※3 出品牛の父牛は、平成17年10月1日以降生まれのもの。
 ※4 月齢は宮城会場初日(平成29年9月7日)で起算する。

改良の中核的集団である和牛改良組合の活動を活性化させ、生産・改良基盤の強化を図るねらいから、種牛の部の出品者については「和牛改良組合の会員」であることとしました。また、能力共進会としてふさわしい大会にするため、出品条件に繁殖能力や産肉能力の育種価条件を盛り込み、さらに、世代交代の促進と改良速度の向上を図るため、若い種雄牛の産子による出品区や出品牛の父牛に年齢制限のある出品区を設けました。一方、遺伝的多様性の確保並びに地域における特色ある系統の再構築も継続して取り組まなければならない改良上の重要課題であり、これらの取り組み成果を確認できる場としての出品区も設定しています。

第11回全国和牛能力共進会・出品牛造成スケジュール

出品区分 出品月齢	平成26年 12月1月 12/27	平成27年(2015年) 12月1月 8/27 10/8	平成28年(2016年) 12月1月 6/7	平成29年(2017年)
第1区(若雄) 生後15~23カ月未満	授	精	分	
第2区(若雌の1) 生後14~17カ月未満		6/28 授精	4/8 7/1 分娩	
第3区(若雌の2) 生後17~20カ月未満		3/29 授精	1/8 4/7 分娩	
第4区(系統雌牛群) 生後14カ月以上			※ 7/7以前生まれ	
第5区(繁殖雌牛群) 別記・3産以上			※ 孫娘牛は7/7以前生まれ	
第6区(高等登録群) 別記・生後14カ月以上				
第7区(総合評価群) 生後17~24カ月未満	11/27 授	6/27 精	9/8 4/7 分娩 ※1)	
第8区(若雄後代検定牛群) 生後24カ月未満	11/27 授精	9/8 9/8 分娩 ※2)		
第9区(去勢肥育牛) 生後24カ月未満	11/27 授精	9/8 9/8 分娩 ※3)		

会期 9月7日、9月11日

第十一回全共最終審査・宮城会場

道府県最終予選会

★出品牛申込期限

注) [授精]の日付は妊娠期間285日で算出

※1) 出品牛の父牛は、平成17年10月1日以降生まれのもの。
 ※2) 出品牛の父牛は、平成22年10月1日以降生まれのもの。
 ※3) 出品牛の父牛は、平成17年10月1日以降生まれのもの。

第 11 回全国和牛能力共進会対象種雄牛

区	種雄牛条件	種雄牛名 (対象牛の父牛) 等
若 雄	—	県産種雄牛
若 雌	—	県産種雄牛
系統雌牛群	—	系統群の中から種雄牛作出が必要 「たま」「かんげつ」「ふくはな」「はつはな」「はつひめ」など
繁殖雌牛群	—	沢茂勝、勝福茂、花茂勝 2、第 5 北盛、新初英など
高等登録群	—	娘牛・孫娘牛の父は県有種雄牛 また母牛の父は県有種雄牛が望ましい
総合評価群	H17.10.1 生以降	北盛栄
若雄後代検定牛群	H22.10.1 生以降	藤沢茂
去勢肥育牛	H17.10.1 生以降	北盛栄、美咲鶴など